

# 稲・大豆作情報 (NO. 1)

## 1. 水稲作況情報田の生育概況(7月2日現在)

品 種 場 所	移植日 栽植株数	年 次	現在の生育状況			概 況
			草 丈 cm	茎 数 本/m <sup>2</sup>	主稈 出葉数	
夢しずく 佐賀市本庄町	6/17 18.0株/m <sup>2</sup>	本 年	27.5	103	5.8	移植後は晴天が続き、高温で少雨、多照で経過している。草丈は平年並みかやや低く、茎数は、「夢しずく」「さがびより」は平年よりやや多く、ヒヨクモチはまだ分けつが発生していない。
		平 年	30.3	98	6.1	
		平年比	(91)	(105)	(+0.3)	
さがびより 小城市芦刈町	6/21 18.5株/m <sup>2</sup>	本 年	28.4	83	5.7	
		平 年	27.8	75	5.7	
		平年比	(102)	(110)	(0.0)	
ヒヨクモチ 小城市牛津町	6/29 19.3株/m <sup>2</sup>	本 年	13.9	77	4.5	
		平 年	17.4	73	4.5	
		平年比	(80)	(--)	(0.0)	

注1) 各品種 前作：麦

注2) 施肥及び病虫害防除は地区基準に準ずる

### 佐賀県農業試験研究センター 米づくり情報(抜粋)

移植日	項目		年 次	草 丈 cm	茎 数 本/m <sup>2</sup>	葉 齢 L
	品種					
6月18日	夢しずく	本 年		27.7	117	5.5
		平 年 (※)		29.2	90	5.5
		平年比 (差)		95	130	0
	ヒノヒカリ	本 年		23	172	6.4
		平 年 (※)		23.2	112	5.8
		平年比 (差)		99	154	0.6
6月21日	さがびより	本 年		23.1	83	5.2
		平 年 (※)		24.5	73	5.4
		平年比 (差)		94	114	-0.2
	ヒヨクモチ	本 年		19.4	121	5.9
		平 年 (※)		21.9	100	5.6
		平年比 (差)		89	121	0.3

注) ・「夢しずく」、「ヒノヒカリ」は、6月18日移植の稚苗(播種期5/24, 播種量 湿籾180g/箱)

「さがびより」、「ヒヨクモチ」は、6月21日移植の稚苗(播種期5/27播種量 湿籾180g/箱)

・栽植密度: 「夢しずく」は、条間30cm×株間17cm, 19.6株/m<sup>2</sup> (65株/坪)

「さがびより」は、条間30cm×株間20cm, 16.7株/m<sup>2</sup> (55株/坪)

「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は、条間30cm×株間15cm, 22.2株/m<sup>2</sup> (73株/坪)

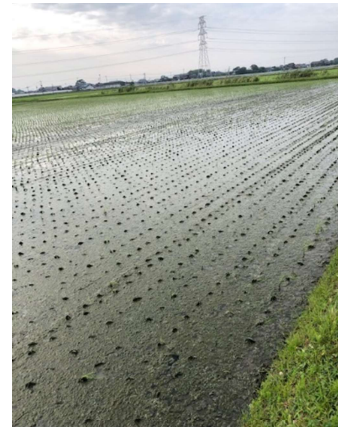
・栽培管理: 施肥法は県基準に準じ、防除他はセンターの慣行による。

## 2. 水稲管理

今年は、移植が6月上旬～月末と長期化し、生育状況も早生種は分けつ期、中晩生種は活着期～分けつ期となっているが、圃場管理により生育差が見え始めている。麦わら腐熟によるガス湧きやスクミリンゴガイ食害を考慮した圃場管理で、できる限り生育回復に努める。

### ○水管理 ～ 時期に応じ 浅水・落水・間断 適正な水管理を ～

- 圃場の水位調整を怠って、深水になっている圃場が散見される。  
現在での深水管理は 分けつ抑制、ガス抜き不良、スクミリンゴガイ食害 等  
水稲の生育に悪影響を及ぼす可能性が高いため、除草剤施用後湛水期間を過ぎた圃場は、溜め水とせず速やかに間断かん水に移行し、土壤に酸素を供給し、稲体の健全化を図る。
- また、今年は高温多照で推移しているため、田面の表層剥離や藻の繁殖が多く確認されている。深水で管理すると 右写真 のような吹き寄せの可能性が高くなるため、速やかに落水・浅水管理に移行し、浮遊物の吹き寄せや藻の発生を制限する。すでに吹き寄せにより稲株が隠れている場合は、除去しない限り欠株となる。
- さらに高温傾向が継続しているため、ガス湧きも顕著になりつつある。ガス湧きを確認されている圃場は、落水→浅水を繰り返す、適正なガス抜きを心がける。特に水面に油膜が見られる場合は早急に落水する。またガスの有無を定期的に確認し、土壤の健全化も図る。
- スクミリンゴガイの食害も昨年ほどは多くないが、各地で確認されている。来週、降雨が予想されているが、貝の活動抑制を図ることができる浅水管理にすると共に必要に応じスクミノン、スクミンバイト3などで薬剤防除を実施する。
- 余り苗はいもち病やウンカの温床になるため、補植作業が終わったら、直ちに除去する。



表層剥離の吹き寄せ

## 3. 大豆管理 ～ 播種適期となります。播種前後の天候を見計らって、大豆の播種を行いましょう～

### ○圃場準備 ～ 耕起は水分の低い時に、大雨・長雨予報の時は無理しない！～

- 荒起こしは播種前日～当日に行う。(一旦耕起すると、降雨が続く場合は土壤水分が低下しにくく、晴天が続く場合には乾燥しやすい弊害があるため)
- 天候が変わりやすい場合には、無理に荒起こしはせず、1工程で浅く耕起して播種する。
- 耕うんと播種を2台のトラクターで並行して組作業を行えば、晴れ間の作業が可能となるとともに土壤水分を確保しつつ播種が可能になる。

### ○播種

- 種子消毒：紫斑病や腐敗防止および発芽率の向上のため、必ず実施する。

#### ・播種量：

播種日	栽植本数 ㎡あたり	栽植様式 条間×株間×1株本数	播種量 (kg/10a)
7月1日～5日	10本	75×25×2	3.0
7月6日～20日	13本	75×20×2	4.0

#### ・播種深度

播種後2～3日以内に降雨が予想される場合→2cm程度の浅め 鎮圧はしない

播種後1週間以上好天が予想される時や、土壤が乾燥気味の場合→4cm程度の深めかつ鎮圧する

- 除草剤 播種直後に土壤処理剤を散布し、雑草防除を行う。特に近年問題となっているホオズキの発生が多い圃場においては、「ラクサー乳剤」が効果的である。

令和3年産水稻生育期間気象グラフ（アメダス：佐賀）

佐城農業改良普及センター

